

の 広報 ほりばつ

2/1

1997

No.556



主な 内容

- ・新しいごみ処理施設を建設します
- ・容器包装リサイクル法が施行されます
- ・市民レポート「まちづくりについて」
リポーター 千葉 保さん
- ・確定申告、市・道民税の申告を忘れずに
- ・きらり ボランティア体験作文で知事賞を受賞
種村志歩美さん

1月26日(日)、アーニス広場で「親子ふれあいこけし絵つけ教室」が行われ、親子20組が、弥次郎系こけし工人の清水たかよさんの指導で、白木のこけしに顔などを描きました。

1時間ほどで、カラフルで表情豊かなこけしができあがり、親子や友だちどうして見せあいながら「難しかったね」「上手にできたね」と、感想を話していました。

来年度から

新しいごみ処理施設を建設します

市は、平成7年度に「新ごみ処理施設整備計画」を策定し、新しいごみ処理施設として焼却処理施設・リサイクルプラザ・最終処分場の一体的な整備を行うことになりました。

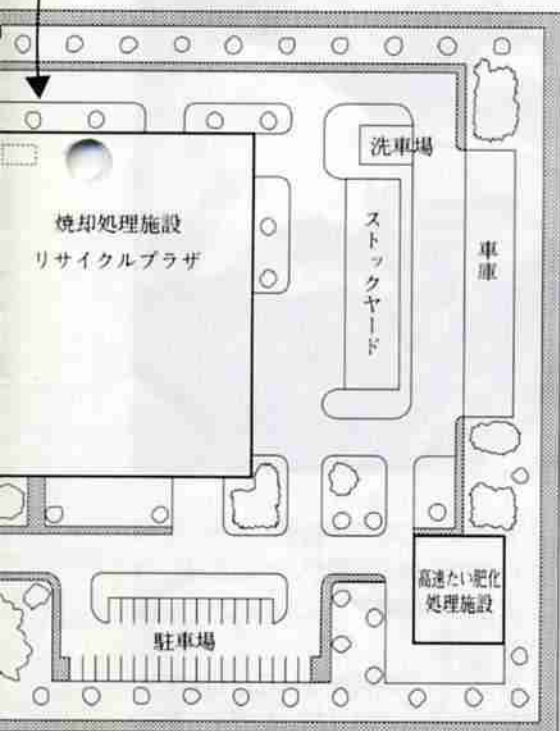
この計画は「廃棄物の循環型社会」の実現を大きな目標とし、地球環境を守り、限りある資源の有効利用につながるような廃棄物処理を行うことを基本方針としています。

施設の整備は、平成9年度から平成11年度までの3カ年事業として、国からの補助を受けて行い、平成12年度からすべての施設を同時に使用開始する計画です。

○中間処理施設

建設予定地	登別市幸町2丁目5番地1(現日の出野球場)
建設用地面積	約22,600㎡

至 白老



※この計画図は予定図のため、実際の施設とは異なる場合があります。



▲現在のごみ焼却施設「清掃工場」

現在の最終処分場である千歳最終処分場についても、昭和45年度から埋め立て処分を行っています。大型ごみや、現在の清掃工場では焼却できないプラスチック・ビニール・発泡スチロールなどの高カロリーごみが多量に持ち込まれている状況で、平成11年度をもって埋め立てが完了する予定になっています。

現在の最終処分場である千歳最終処分場についても、昭和45年度から埋め立て処分を行っています。大型ごみや、現在の清掃工場では焼却できないプラスチック・ビニール・発泡スチロールなどの高カロリーごみが多量に持ち込まれている状況で、平成11年度をもって埋め立てが完了する予定になっています。

なぜ

新しいごみ処理施設の建設が必要なのか

現在のごみ焼却施設である清掃工場は、昭和54年度から稼働し、

18年を経過しようとしています。毎年、定期整備を行い、多額の費用をかけて補修していますが、老朽化などにより設備の損傷が著しく、ごみの量が増える一方で処理能力は年々低下しています。



▲現在の最終処分場「千歳最終処分場」

このため、将来的な視野に立つて廃棄物を適正に処理していくため、新しいごみ処理施設を建設することになりました。

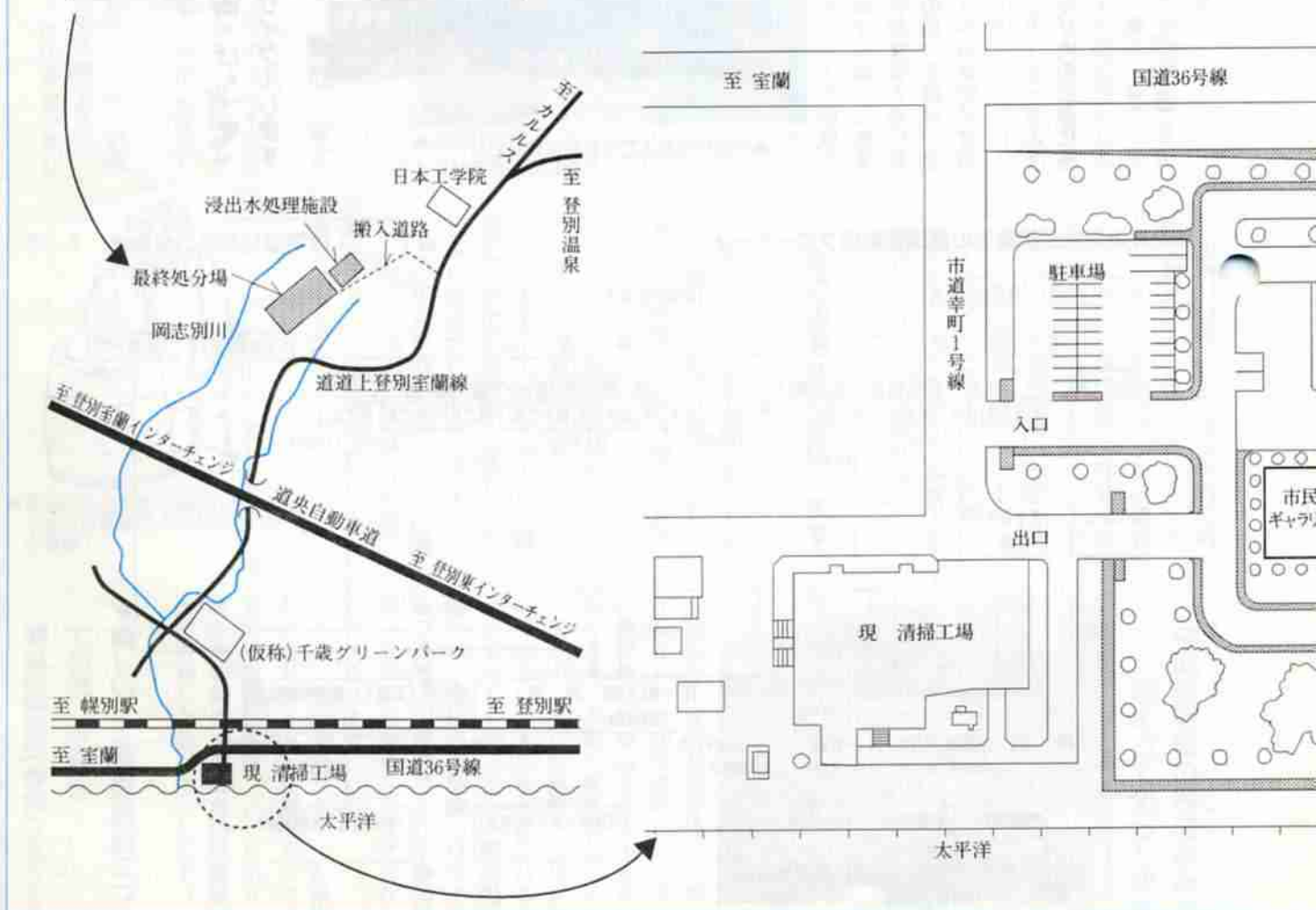
新しいごみ処理施設の概要

整備予定施設	規 模	受入対象	整備年度	使用開始予定
焼却処理施設	82 t / 日 (41 t × 2 炉)	可燃ごみ 下水道汚泥 し尿処理汚泥	平成9年度 ～平成11年度	平成12年度
リサイクルプラザ	破碎処理施設 24 t / 日	不燃ごみ 粗大ごみ		
	資源化施設 11 t / 日	資源ごみ (缶・びん)		
	再生展示施設	再生利用可能な粗大ごみ		
	市民ギャラリー (温室) 約750㎡ ・余熱利用 ・修理、再生されたリサイクル品の展示 ・生ごみたい肥化製品の試験 ・啓発パネル・ポスターなどの展示 ・フリーマーケットなどのイベントへの開放			
	高速たい肥化処理施設 5 t / 日	事業系生ごみ		
最終処分場	埋立面積 16,600㎡ 埋立容量 95,000㎡ 浸出水処理施設 80㎡ / 日	焼却残渣 破碎不燃物		

○最終処分場

建設予定地	登別市千歳町263番地
建設用地面積	約272,100㎡

配置計画図



3年後の平成12年度から

ごみ処理の方法が変わります

新しいごみ処理施設は、平成12年4月から稼働する予定ですが、これまでの焼却を主体とした処理方法から、ごみの減量・減容化（重量だけでなく容積も減らすこと）やリサイクルが高まるような処理方法に変わります。

○高カロリーごみや下水道・し尿処理汚泥も焼却します

新しい焼却処理施設では、現在「燃やせないごみ」として出されている、プラスチック・ビニール・発泡スチロール・ペットボトルなどの高カロリーごみについても焼却可能になります。
現在の「燃やせるごみ」（紙類



▲ペットボトルやプラスチックなども燃えるごみに

・木くず・生ごみなど」とこれらの高カロリーごみを合わせて、平成12年度からは「燃えるごみ」として焼却することになります。

また現在、民間業者や市の最終処分場で埋め立て処分をしている下水道汚泥やし尿処理汚泥についても、将来的な安定処理を図るため、高カロリーごみを助燃剤として焼却します。

ごみの焼却によって発生する余熱は、工場棟の暖房・給湯、ロードヒーティング、市民ギャラリー（温室）、ごみ収集車などの洗車場へ利用します。

○不燃・粗大ごみは 破砕処理をします

現在、直接、最終処分場で埋め立てている燃やせないごみや粗大ごみは、リサイクルプラザ内の破砕処理施設で破砕し、有価物（鉄類）・不燃物・可燃物の3種類に選別し、有価物は有効資源としてリサイクルし、可燃物は焼却し、不燃物だけを埋め立てることで、ごみの減量・減容化とリサイクルを図ります。

※有価物：金銭上の価格のある物

○資源ごみ（缶・びん）を 収集しリサイクルします



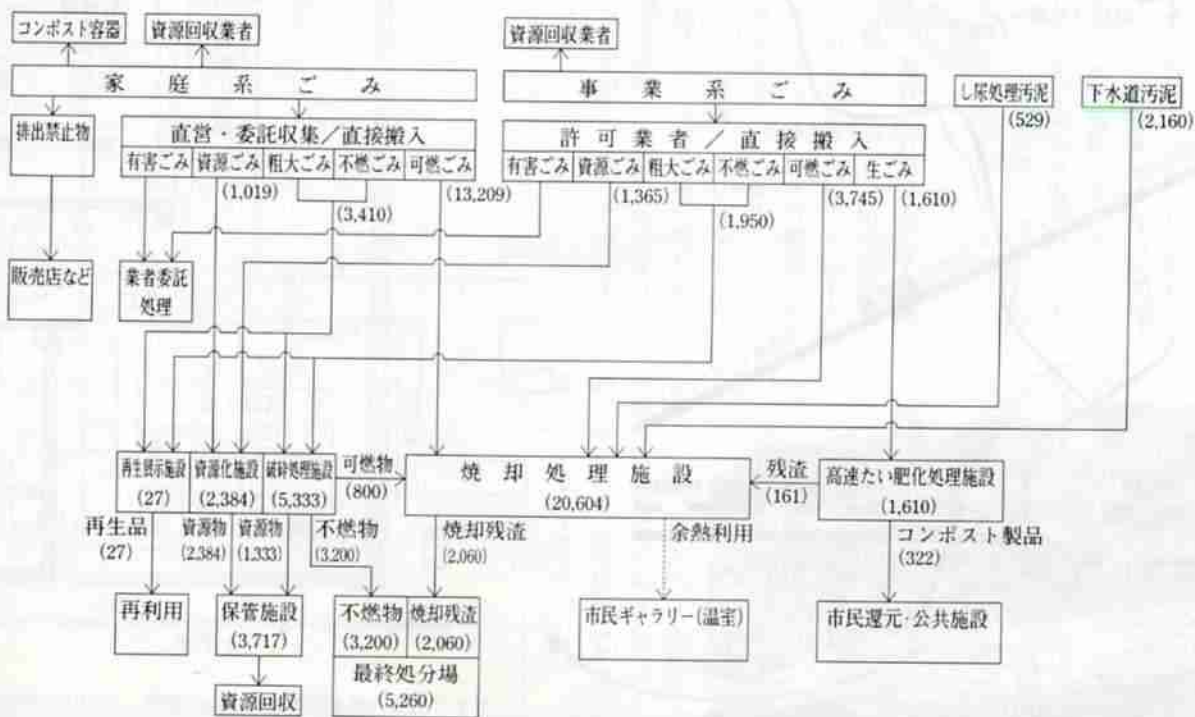
▲平成11年度まではこれまでどおりドラム缶方式でリサイクル

登別方式資源リサイクルシステム（ドラム缶方式）により回収しているあき缶、雑びんは、これまでに以上の資源を回収するため、新たに「資源ごみの日」を設け、全的にごみステーション方式で収集します。

回収した資源ごみ（缶・びん）はリサイクルプラザ内の資源化施設で、缶はスチール缶とアルミ缶に、びんは色別（無色・茶色・その他）に選別し、有効資源としてリサイクルします。

新ごみ処理施設稼働後の循環型処理フローシート

※（ ）は平成12年度の推計値、t/年



容器包装リサイクル法が

4月1日に施行されます

容器包装リサイクル法は、缶・びん・紙パックなどの「容器包装廃棄物」の分別収集と再商品化を促進し、「ごみゼロ社会」の実現を目指して、平成7年6月に制定されました。

市は、「容器包装リサイクル法」に基づき、リサイクルをより一層進めるため、「自然とともにくらす快適なまちづくり」「ごみの排出抑制とリサイクルを目指した地

域社会づくり」「市民・事業者参加型の展開」を基本的方向に、平成8年10月に、「分別収集計画」を策定しました。

この計画では、缶・びんなどの資源ごみのリサイクルについて、平成9年度から平成11年度までは現行の登別方式資源リサイクルシステム(ドラム缶方式)を継続します。平成12年度からは、新ごみ処理施設(リサイクルプラザ)が稼働

しますので、市内全域を対象にこみステーションから回収します。

牛乳パックについては、各町内会などが実施している集団回収と合わせて、今年4月から、公共施設に回収ボックスを設置し、回収を行います。

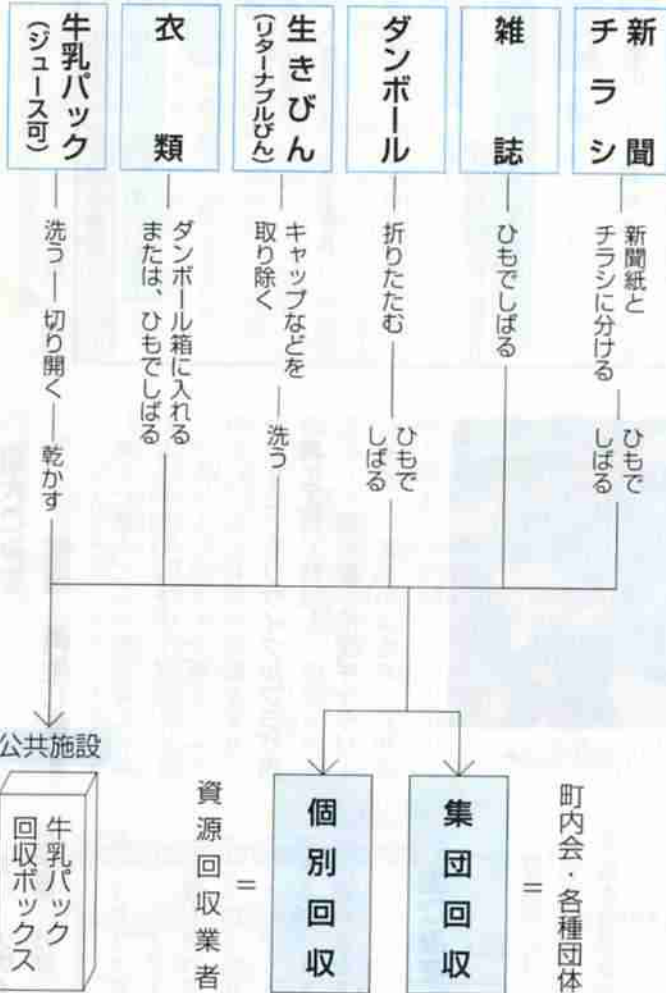
※また、各町内会や各種団体が実施している集団回収(新聞・雑誌・ダンボールなど)の促進も図ります。



すめましょう

クルシステム

第1種回収資源



公共施設名	牛乳パック回収ボックス	びん・缶回収ボックス
市役所	○	○
市民会館	○	○
しんた21	○	○
労働福祉センター	○	○
鉄南ふれあいセンター	○	○
老人福祉センター	○	○
総合体育館	○	○
若草つどいセンター	○	○
鷺別公民館	○	○
登別公民館	○	○
婦人センター	○	○
富浦児童館	○	○
登別温泉支所	○	○
登別温泉公民館	○	○
登別小学校	○	○
亀田記念公園	○	○
登別市清掃工場	○	○

牛乳パック・びん・缶の回収ボックス設置公共施設
(牛乳パック回収ボックスは平成9年4月から)

それぞれの役割をはたすことで
ごみの減量化とリサイクルが
図られます

《市民の役割》



- 使い捨て商品を自粛するなど、ごみの減量に努めましょう
- 不用品の有効活用やエコマーク商品を進んで利用しましょう
- 買い物袋などを持参するとともに、簡素な包装の商品を選択しましょう
- スーパーなどが行う容器包装（牛乳パック・トレイなど）の店頭回収に協力しましょう
- 地域での集団回収に積極的に参加しましょう

《事業者の役割》



- リサイクルが容易な包装資材を使用しましょう
- 商品の簡易包装をすすめましょう
- エコマーク商品や再生品を積極的に取り扱い、これらの商品の普及に努めましょう
- 缶・びん・紙パック・トレイなどの自主的な回収に努めましょう
- 事業活動によるごみを減量するとともに再資源化に努めましょう

《市の役割》



- 容器包装リサイクル、ごみの減量に関する啓発活動を積極的に行います
- 環境教育として、市民の方に学習の機会を提供します
- 不用品ダイヤル市・リサイクルハウスの活用など、再利用に関する情報提供を行うとともに、各種イベントによるリサイクルと減量の啓発を積極的に行います
- 廃棄物処理施設・リサイクルプラザの整備を行います
- 集団資源回収団体の育成・支援を図り、資源回収を促進させます

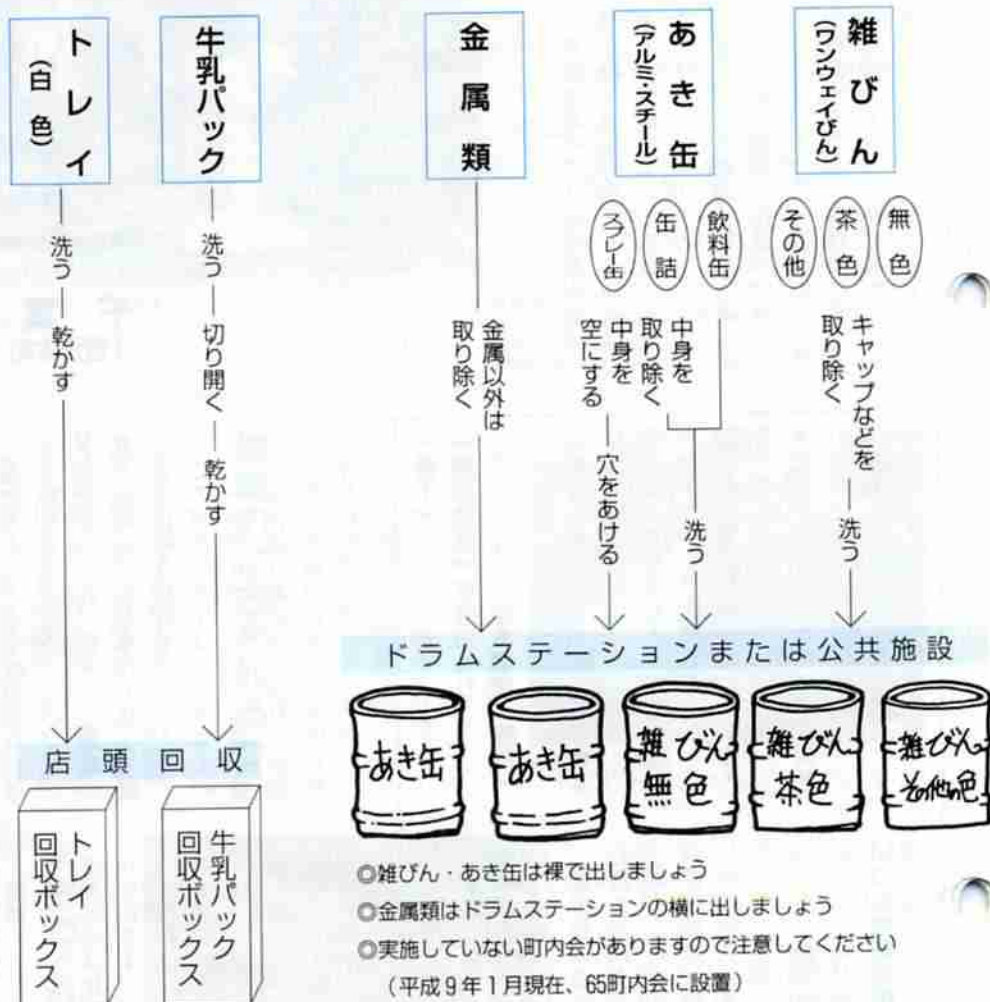
みんなでリサイクルをす

市内のスーパーなどの

自主回収

登別方式資源リサイ

第2種回収資源



▼ごみ処理についての問い合わせ
環境衛生課 (☎05295588)

店名	牛乳パック回収ボックス	トレイ回収ボックス
しが若草店	○	
イーストショップしが	○	
登別サティ	○	○
生協 旭ヶ丘ストア	○	
生協 新生ストア	○	
ブラザファイブ桜木店	○	
ブラザファイブアニス店	○	
ホームストア幌別店	○	
ダイエー幌別店	○	

牛乳パック・トレイの自主回収店舗

まちづくりについて
「まちを見まわしてみると」



市民リポーター
千葉 保さん
(登別本町・38歳)

現在、日本各地で色々な方法の「まちづくり・村おこし」が行われています。近いところでは「国際雪合戦」というイベントで成功した壮瞥町などがあげられます。

この「まちづくり」について、登別地区で自分も参加し、活動している「登別まちづくり促進期成会」の活動を紹介しながら考えてみたいと思います。

登別まちづくり促進期成会は、登別地区連合町内会と登別地区にある各団体によって構成されています。

まちづくりの基本構想(表1)をもとに、散策・街路・マップ・フラワーパレット・提案の5つの委員会からなり、各種の行事などを通してまちづくりを進めています。

花を育てる豊かな心を
地域に広げよう

草花は種を植えただけでは容易に育つものではありません。ましてや、鑑賞に耐え続けるものとなると…。当然そこには人間の手や心に加えられていかなければならないのは必然的なことです。

春になると、小学校道通りに様々な彩りを添える100ほどのプランターが並べられ、花々は、地域の方々の暖かい心と奉仕で秋まで競うように咲き続けます。

このプランターは「フラワーパレットのほりべつ」の4回目を機に、学園通り商店会や各町内会のみなさんの協力によって続けられているものです。



▲一つの花に、一つのやさしさを「花の里親」

小学生が中学生になり、中学生が高校生になり、壊れるプランターの数が一つずつ少なくなる中で、誰もが余り気づかずにいるかも知れませんが、少しずつ少しずつ地域の人たちに地域を愛する心・優しさが広がってきているのだと感じました。

フラワーパレット
のほりべつ

地域の方に話を聞くと「この通りは、小・中学生の通学路で、登別地区では比較的人通りのある通りなんです。プランターを置き始めた当初は、小学生がそれと気づかずひっくり返すこともしばしばだったんですよ。しかし、彼らはそっとプランターをおこし、植え直してくれたんです」とうれしそうに話してくれました。

(表1)
「登別地区」まちづくり
基本構想(抜粋)

*何のために(まちづくりの根本原理)

このまちに住む人々が、生涯にわたって豊かで充実した暮らしのできる環境(生活基盤)を築くことにある。

*どんなことを(まちづくり構想の視点)

将来的展望(子や孫の代)を見すえ、登別地区の立地条件(自

然・政治・経済)の実態を踏まえ、この地にふさわしい個性的なまちを求める。

*だれが(まちづくりの原動力)

理想郷の建設には、長い年月と行政の援助を必要とするが、なによりも大切なのは、われわれ住民の自助努力(知恵と汗)にあることを自覚する。

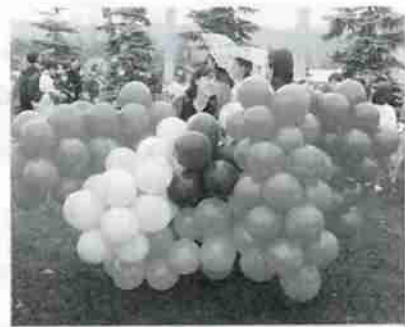
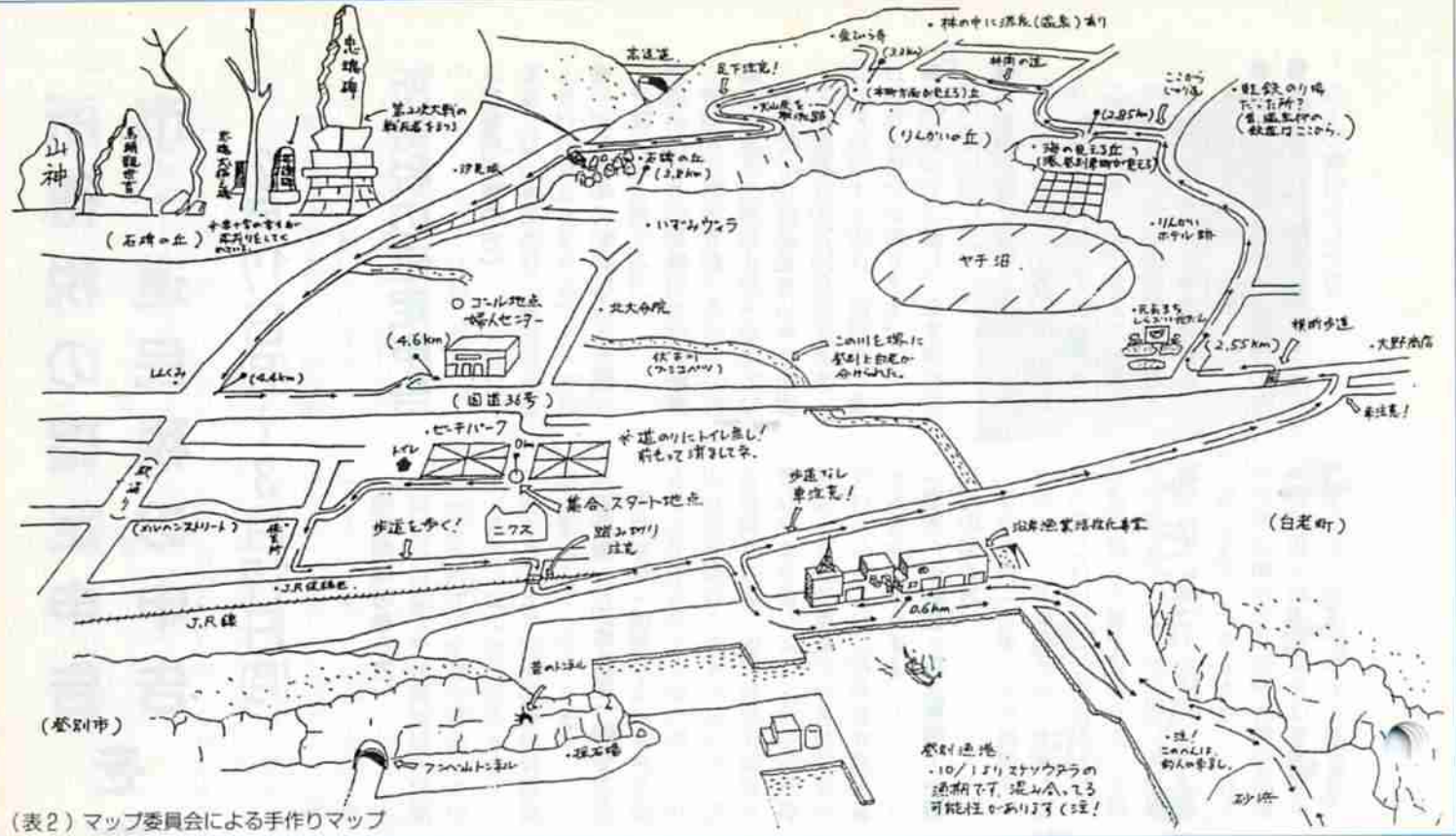
「こんな表現の似合うまちにした
いーテーマー」

いつも希望の鐘が鳴り響くまち

きっかけは、登別マリナーパークニクスがこの町に誕生をしたことを歓迎し、まちとして人を迎える心を表したWELCOMENIXUS祭でした。

次の年は、訪れた人への歓迎の意味を込めて花を要所に施し、その花を育てる心をまちづくりのテーマとし、また副題をフラワーパレットと決め「まつり」が行われました。

その後も、花を育てる心をまちづくりの指針として、「種から芽が出て、葉が繁り、花が開き、実を結ぶ」10年のストーリーの展開



▲手作りの地域イベント「フラワーパレットのぼりべつ」

に託し、「まつり」を開催してきました。
このイベントを通して日常の活動を続けるための栄養を得ているような、そんな感じがします。

地域のよさを知ろう

登別市にはまだまだ多くの自然や歴史的なものが残されています。登別地域においても他の地域に負けないほどのものがあります。そこでこれらの自然などを多くの人たちに知ってもらおうと登別まちづくり促進期成会では連合町内会と合同で、平成7年度より10月10日の体育の日に「秋の散策会」を行っています。

特に8年度は、絶景の登別海岸や活気あふれる登別漁港など、海の見える登別のよさを知ってもらおうと同時に、散歩のコースを提供しようとマップ委員会がマップ(表2)を作り、秋の散策会を開

催しました。
この会には老若男女を問わず地域の人々150人が参加、終了後にはとれたての秋の味覚「すけその三平汁」も堪能しました。
参加者からは「散策会の中でたくさんのふれあいを持つことができたし、登別の良さを再確認しました」との声を聞くことができました。



▲心地よい汗を流した秋の散策会

まちづくり

登別まちづくり促進期成会は、自分たちの地域に根ざして自分たちができることからまちづくりを進めてきました。

しかし、まちづくりはそれだけで完成するものではなく、登別市という広い視野に立った行政の援助を必要とするものです。

そこで、市の新しい総合計画の前に、地図上に地域住民のこれかあるべきこの地域の希望をまと

め、連合町内会と合同で市に提案することもしました。
これは、これから順次実現されていくものと期待しているところ
です。
まちづくりは、現在住んでいる人だけのものではなく、これから住んでみたいと考えている人のことも考えて進めなければならぬと思います。

そしてまちづくりは、われわれ住民の自助努力(知恵と汗)をもとに、決して早急に行われるものではなく、それらが積み重ねられ少しずつ改革されていかなければならないものではないでしょうか。
それには、一人でも多くの住んでいる人が、地域の持っている良さや改善しなければならぬことに気づき、どのようにしたらいいのかを考え、そしてそれを実行することが必要だと思います。
それは決して大きなことではなく、例えば、落ちていた空き缶が美観を損ねると思ったならば、ゴミ箱へ捨てることを考え、行動に移せばよいのです。

私を含めて、実はそのようなところから、まちづくりがはじまるということに気づくべきではないでしょうか。

登別まちづくり促進期成会

それは登別地区に住むみなさん全てが何らかの関わりを持っている、いや、全ての方が会員なのです。

所得税の確定申告 市・道民税の申告

を忘れずに!!

2月17日(月)～3月17日(月)

所得税の確定申告

〈給与所得者の方〉

◎次に該当する方は、確定申告をしなければなりません。

●平成8年中の給与の収入金額が2千万円を超える方

●給与所得や退職所得以外の所得金額が20万円を超える方

●給与を2力所以上から受けている方で、主たる給与以外の所得の合計額が20万円を超える方

◎次に該当する方は、所得税が還付される場合があります。

●年の途中で退職し、年末調整を受けていない方

●医療費控除を受ける方
(所得の5%か10万円のいずれか少ない金額以上の医療費を支払った場合、その超えた金額を控除。なお、生命保険会社などから給付を受けた金額は支払った金額より控除し計算)

●住宅取得等特別控除を受ける方

●国や地方公共団体などに1万円以上の寄付をした方

〈退職所得のある方〉

給与所得などで特別減税の限度額(5万円)の全額を控除してない場合、ほかの所得とあわせて申告することで、所得税の特別減税を受けることができます。

〈雑所得(公的年金等)のある方〉

厚生年金・国民年金・共済年金などの公的年金を受給の際に所得税が源泉徴収されている方で、社会保険料控除(国民健康保険料を支払った金額など)・生命保険料控除・扶養控除などの各種控除を受けられる方は、所得税が還付される場合があります。

〈事業・不動産・譲渡所得・一時所得のある方〉

事業所得(営業・その他事業所得など)・不動産所得(土地や建物の貸し付けによる所得など)・譲渡所得(土地や建物を売って得た所得など)・一時所得(生命保険契約等に基づき支払いを受ける一時金など)のある方は、これらの所得金額の合計額が所得控除額の合計額を超える場合は、確定申告をしなければなりません。

税務署出張納税相談日程

会場	月日	受付時間
鉄南ふれあいセンター (鶴別町3-17-1)	2月19日(水)	9:30～12:00
	2月20日(木)	13:00～16:00
	2月21日(金)	9:30～12:00

※税務署より確定申告書の送付があった方や日時・会場の指定を受けた方は、その確定申告書を持参し指定の会場で申告してください。それ以外の方は、室蘭税務署または右記会場でお願います。
なお、還付申告については市税務課でも1月から随時受け付けています。

市・道民税の申告

市・道民税申告相談日程

会場	月日	受付時間
登別市役所 第2庁舎1階会議室 (休日を除く)	2月17日(月)～ 3月17日(月)	9:30～11:30 13:00～16:30
鶴別公民館	2月24日(月) 2月25日(火) 3月6日(木)	
登別観光会館	2月26日(水) 3月7日(金)	
登別婦人センター	2月27日(木) 2月28日(金)	

平成9年1月1日現在、登別市に住んでいる方で、前年(平成8年1月～12月)に収入のあった方は、市・道民税の申告が必要です。次の各会場で申告してください。ただし、次に該当する方は原則として申告の必要はありません。

- ①所得税の確定申告をした方
- ②勤務先で年末調整を済ませた方で、それ以外に所得のない方
- ③収入が公的年金だけで次のいずれかに該当する方
●昭和7年1月1日以前に生まれた方で、年金収入額が266万6千666円以下の方
●昭和7年1月2日以後に生まれた方で、年金収入額が104万円以下の方
- ④収入がなく扶養親族になっている方

▼問い合わせ 室蘭税務署 (室蘭市入江町1番地13 ☎24151)

▼問い合わせ 税務課市民 税係(☎51155)

所得税、市・道民税の申告に必要なもの

①平成8年中の収入金額を証明する書類

- 給与所得の源泉徴収票(原本)
- 公的年金等の源泉徴収票(原本)
- 報酬・料金などの受給額を証明する書類
- 事業収入・不動産収入などのある方は、収入・支出の帳簿や領収書

②平成8年中の社会保険料などの支払いを証明する書類

- 国民健康保険税・国民年金保険料の領収書(平成7・8年度分など)
- 生命保険料控除証明書
- 損害保険料控除証明書

③配偶者に収入のある方は、その収入を証明する書類

④医療費控除を受ける方は、その領収書・証明書(医療費明細書に金額などを病院ごとにまとめて記載し持参)

⑤住宅取得特別控除を受ける方

- 登記簿謄本(写)
- 工事請負契約書(写)または売買契約書(写)
- 住民票
- 金融機関で発行する借入金の年末残高証明書
- 家屋の改築の場合は、建築士から交付された増改築等工事証明書

⑥朱肉を使う印鑑

⑦所得税の還付を受ける方は、本人名義の銀行・支店名・口座番号

きらり

ボランティア体験作文で知事賞を受賞

種 村 志歩美さん（中央町）



障害者の日（12月9日）にちなんで北海道が募集した「平成8年度心の輪を広げる体験作文小学校の部」で、幌別小学校3年生の種村志歩美さんが、最優秀の知事賞を受賞しました。

「ボランティア体けんにさんかして」と題したこの作文で、志歩美さんは、登別市社会福祉協議会が主催したボランティア体験月間のガイドヘルパー体験に参加し、視力障害者の中川さんや盲導犬ロディとの交流を通じて、感じたことをいきいきと書いています。受賞を喜ぶ志歩美さんに話を聞きました。

「作文のきっかけになったボランティア体験はどうでしたか。」
「時間のたつのがあつたというままで、楽しかったです。」
今までは、目の見えない人はか

わいそうだと思つてたけど、中川さんも「かわいそうだと思わないでほしい」と言っていたし、「障害があつても生きていくことの障害にはならないんだね」と、お母さんと話しました」

「作文を書くかと思つたのは、どうしてですか。」
「本当は、中川さんへお礼の手紙を書くかと思つて、作文を書きました」

「最初はすぐくびくくりしたけど、うれしかったんです。」
中川さんにもあいさつに行つて、「よかつたね。しいちゃん（志歩美さん）が書くことで、みんなが盲導犬のことをわかつてくれるんだよ」と、喜んでくれました」

「登別市がどんな街になつてほしいと思ひますか。」
「盲導犬がたくさんいて、みんなが安心して歩ける街になつてほしいです」



▲一緒にボランティア体験に参加した是則友里さんと、受賞を喜ぶ志歩美さん(左)。

「将来の夢は。」
「人を助けたいから、看護婦さんになりたいです」
「どんな看護婦さんになりたいですか。」
「注射の上手な看護婦さんです」
今度は手話を習つてみたいという志歩美さん。やさしい気持ちをもち続けて、注射の上手な看護婦さんになってください。

いきいきボランティア

特技を生かしたボランティア活動
いつまでも元気で長寿の願いを込めて

登別本町の亀谷健二さんは、個人ボランティアとして、毛筆をつかった筆耕ボランティア活動をしています。

この活動を始めたのは、平成7年4月に、デイサービスを利用してのお年寄りの誕生日プレゼントとして、ボランティアが手作りしたちぎり絵の色紙に、長寿を祝う言葉を毛筆で書き記したことがきっかけでした。

その言葉は「寿・夢・誠・愛」など、それぞれのお年寄りにあわせて、元気で長生きしてほしいという願いを込めて、130枚も書きあげたそうです。

に感謝しています。これからも人とのふれあいを大切に、長く続けていきたいですね」と、話してくれました。

ビスセンターに贈っています。亀谷さんは、「自分の特技がこんなかたちで、たくさんの人の喜びや励ましに役立つことに

ボランティアセンターでは、特技や技術を生かした活動をしてくれる方を募集しています。

○日曜大工ボランティア
○運転ボランティア
○車いすガイドボランティア

○散髪ボランティア
○読み聞かせボランティア

○代読・代筆ボランティア
○洋裁ボランティア

など

▼問い合わせ 登別市社会福祉協議会ボランティアセンター
(☎0860)



▶デイサービスでお年寄りにことわざの由来を話す亀谷さん。

新たな目標への第一歩 平成9年登別市成人祭



成人の日の1月15日(木)、登別マリンパークニクスを会場に、平成9年成人祭が行われました。

今年、市内の新成人は901名で、成人祭には、あてやかな晴れ着に身を包んだ男女587名が出席しました。

式典では、上野市長から「地球規模で考え、甘えの気持ち捨て、社会のリーダーになってほしい」と祝辞を受けた後、新成人を代表して、赤井伸宇さんと佐藤美智代さんが、両親に感謝し「豊かで希望に満ちた未来の開拓に努めます」「思いやりとやさしさに満ちた社会を築くことに努めます」と、二十歳の誓いを新たにしました。

災害時に威力 完成間近



全道で初めての地下水を利用した大容量防火井戸

消防署鷺別支署で建設中の「大容量防火井戸」は、2月末に完成します。

昨年の10月から工事を進めていたこの防火井戸は、約100トの地下水を常時ためておくことができ、地下水を利用する井戸としては、全道で初めての施設です。

組み立て工事が終了した後は、地下に埋設され、断水時などでの消防用水や非常用生活用水の確保に威力を発揮します。

市は、各地区にも同じような井戸を順次、設置していく予定です。

開かれた市政運営を目指して 「情報公開条例」検討始まる

市は、情報公開と個人情報保護条例の平成10年4月施行に向け、今年度から本格的な取り組みをスタートさせました。市政の情報公開は、開かれた市政運営を進めるうえで欠くことのできないものです。

この情報公開制度を検討するため、市役所内の横断的な組織である「情報公開等検討委員会」が昨年10月末に発足。これまで、情報公開や個人情報保護に関する条例の情報収集を行うなど、条例案づくりに向けての検討を進めてきました。

今後は、審議会での審議を経て、条例の原案をまとめ、平成9年度中に議会へ提案する予定です。



東 奔



きれいな歌声のプレゼント

しんたクリスマスミニコンサート

クリスマスイブの12月24日(月)、しんた21で、クリスマス・ミニコンサートが行われました。

しんた21で行われるこのコンサートも3回目になり、登別市在住のソプラノ歌手、菅原峰子さんが、冬のうたやクリスマスソングなど10曲以上を歌い、美しい歌声が館内に響き渡りました。

後半では、菅原さんのはからいで、「ジングルベル」や「赤鼻のトナカイ」を、デイサービス利用者のお年寄りや、すずかけ作業所の通所者の方々など、観客みんなで合唱し、クリスマス気分を盛り上げていました。



我が家の味

『うちのつけもの、食べてみてー!』

1月10日(金)、第20回つけものフェスティバルが市民会館で開かれ、自慢のつけものを競う、つけものコンクールが行われました。

コンクールでは、「かすづけ」18品、「ぬかづけ」19品、「さかなづけ」21品、「かすみそづけ」22品、「アイディアづけ」36品、5部門64名116品の出品がありました。

つけものの香りが漂う会場では、24名の審査員が一品づつ味わいながら、色や塩加減、調味料の有無などについて審査し、特別賞1名、各部門ごとに3名の優秀者が選ばれました。

審査後は、来場した市民約350名が、我が家の参考にと試食していました。

仲間たち

季節に合った花を家庭に

リビング・フラワー「花あそびサークル」

会長 中川 圭 子さん

☎ 03 1626



リビング・フラワー「花あそびサークル」は、公民館講座でリビング・フラワーを習った方々が集まり、6年前に結成されました。

リビング・フラワーとは、「欧米風な室内空間にマッチするような暮らしの飾花」のことで、季節に合わせて身近な花を暮らしに取り入れようというものです。

結成当初は6名だった会員数も口コミで年々増え、現在は女性17名で、第1・3火曜日の10時から2時間、婦人センターで活動しています。

毎月、講師の先生からテーマを出してもらい、基礎にそって

季節に合った花を生けますが、年に2回は、グループに分かれ、花を多く使った豪華な共同作品も作っています。

会員のみなさんは花が好きなので、飾ることで家族の方にも喜ばれているそうです。

講師の野呂さんは、「みんな本当に花が好きで、ニコニコしながら楽しそうに花を生けていますよ。このサークルは、みんなの輪がいいから続いているんだでしょうね。これからも無理なく続けていきたいですね」と、話してくれました。

入会希望の方は、会長の中川さんまで連絡してください。

比田井天来揮毫の頌徳碑をめぐる(3) 登別と栗林五朔との関わり②

登別郷土文化研究会 宮武 紳一



▲紅葉谷付近を煙を出して走る蒸気機関車。
(1918年8月～1925年11月)
周囲はまだ、岩の崩落もあり、開削工事の
難事業がうかがえる。



▲登別から、国道を虎杖浜側高台に進むと遊覧橋があった。
この下を、鉄道馬車が走っている。(1915年12月～1918年7月)

栗林五朔の盟友、中村宗次郎の当時の記録によると「温泉と登別の交通機関は円太郎馬車のみ。路は泥濘の悪路、加えて外湯は入浴し放題の放任主義で、不潔・不快・不整理は甚だしく「温泉登別」の名を辱めていた」と記録されているが自由な情景も窺われる。

落語家の橋家円太郎が、高座で馬車の馭者の真似をして人気を博していたことから、乗合馬車を「円太郎馬車」と洒落でいわれるようになったが、滝本金蔵創設のラッパを吹き鳴らして走った円太郎馬車は悪戦苦闘をし、中登別から時代村の中を突っ走り、登別本町2丁目の旧道を通っていたのである。

さて、五朔を中心として大正4年(1915年)開設した当時の写真(前号掲載)をみると、馭者や車掌は制服・制帽の颯爽とした出で立ちである。

普通道路に比べて軌道車は滑らかに走るが、客車の定数は10余名、標高差約200mの坂を1頭の馬で引

くのは仲々苦しい。2頭・4頭で引けばよいが軌道幅が狭く勝手に走られては大変なので牽引馬は1頭である。扱い方で馬鹿にするなと腹をたてられたらどうしようもない。

事実、翌年の6月9日、引き馬が大暴れして馬と車輪の連結部分はずれ、客車が坂を逆に疾走してカーブで脱線、乗客の負傷者7名という事故が起こった。幸いに、死者の出る大事故にはならなかったが、実は事故の前日、お忍びで皇族の東伏見宮殿下が馬鉄を利用し、登別温泉に来ていたのである。

馬鉄の脱線事故で皇族が災難にあったとしたら、当時は大変な事件で「不幸中の幸い」と関係者は冷汗を流し、胸をなで下ろした。

また、馬鉄の馭者がストライキをおこし、終列車の客2名が徒歩で来泉するという問題も起こった。

列車数も少なく、登別の到着時間は明確でないが、大凡室蘭着は午後7時半なので午後6時半過ぎであろうか。9月1日というから日暮れも早くなる時期である。

「生きものは駄目だ！生きものは絶えず問題をおこす」ということで、大正6年3月「馬を蒸気に改める」と臨時総会で決定、8月には6トの蒸気機関車2輛と客車を購入、試運転をし路線のカーブや高低差の減少・軌道の修復などと改良の工事をすすめていった。

大正7年(1918年)5月1

日、待望の蒸気機関車による軽便鉄道が開設した。

高圧の蒸気で作動する機関車だから水が必要で、特に登別と温泉間は山坂が多く距離も長いので機関車の途中の給水が必要である。

その給水所が江戸期、カムイワツカ(神の水)の地名で知られる今の中登別町で小林商店付近である。小林商店は、明治37年カムイワツカで小店を開いたが、蒸気機関車の給水所として約20分程停車するようになると、お茶や駄菓子などを扱い、乗客から通称「中茶屋」として親しまれるようになった。

当時の写真を見ると、駅名の揭示板もあって「神威若」の名が横書きに記されているの見える。

停車時間をいれると、約1時間余。春の浅緑、夏の深緑、秋の紅葉、川辺を縫って走る車窓からの情景は素晴らしい旅情があり、馬鉄時代に比べ大正8年には2倍の8万2千余人を運び、登別温泉の人気は全国的に増々高まり、政界財界人・文芸界の有名人なども多く来泉するようになった。

ところが、蒸気機関車にも問題があった。温泉と登別間は坂道も以外に長く難所も多い。

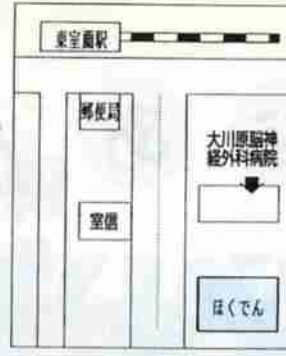
機関車は、10人乗り客車3輛の牽引力があるといわれたが、客の乗車人数と坂道によっては計算通りにいかないし来泉者は1人も残せない。満員の客車を引くはるための問題がまた起こってきた。

あらかると

情

ほくでん登別営業所が 廃止になります

平成9年2月28日(金)をもって、北海道電力(株)登別営業所は、組織再編成のため廃止になります。平成9年3月1日(土)からは、ほくでん室蘭支店をご利用ください。



- ▼住所 〒050 室蘭市寿町1丁目6-25
- ▼営業時間 平日9時~17時
- ▼定休日 土・日曜日・祝日・年末年始
- ▼問い合わせ ほくでん室蘭支店 お客さまセンター (☎011-111)

のぼりべつ春の音楽祭'97

登別市音楽協会、教育委員会共催。日ごろから音楽活動を行っている登別市在住者や出身者15名によるクラシック音楽発表会を行います。

地元ゆかりのある優れた演奏家のコンサートを、ぜひご覧ください。

- ▼日時 3月2日(日) 開場13時30分、開演14時
- ▼会場 市民会館大ホール
- ▼入場料 前売券大人1千円、高校生以下500円(当日券は大人のみ200円増し)
- ▼チケット販売所 市民会館、市役所内母子会売店、鷺別・登別支所、登別観光協会、アーニス、ブックアベニューいりえ
- ▼演奏曲目 ウェーバー作曲「舞踏への勧誘」、プッチーニ作曲「オペラ「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」、シヨパン作曲「アンダンテスピアナートと華麗なる大ポロネーズ」など
- ▼問い合わせ 社会教育課 (☎1100)

文化・スポーツ振興財団 からのお知らせ

テニシング講習会参加者募集

- ▼月日 2月15日(土)
- ▼時間 13時30分~16時30分
- ▼場所 総合体育館会議室
- ▼対象 スポーツ団体指導者や市内に居住または通勤・通学するスポーツ愛好者
- ▼定員 40名(申込順)
- ▼申し込み 2月12日(水)までに電話で総合体育館(☎55552)

第22回登別市長杯争奪民謡大会

登別民謡連合会主催、文化・スポーツ振興財団後援

- ▼日時 2月16日(日) 9時30分開場、10時30分開演
- ▼場所 市民会館大ホール
- ▼入場料 前売券500円、当日券600円
- ▼前売券申し込み・問い合わせ 登別民謡連合会其田さん (☎4211)

歩くスキー教室参加者募集

- ▼日時 2月23日(日) 10時
- ▼場所 カルスサンライバスキ一歩歩くスキーコース
- ▼対象 市内に居住または通勤・通学する方(小学生以上)
- ▼受講料 100円(スポーツ傷害保険料、当日持参ください)
- ※用具は各自で準備ください。
- ▼申し込み 2月18日(火)までに電話で総合体育館(☎55552)

住宅などの給湯配管用銅管の腐食と防止

鷺別地区(新生、若草、美園、鷺別町)や幌別地区の一部(千歳、常盤、中央町7丁目)で、一般住宅などの給湯設備に使用されている銅管の腐食による漏水がみられます。

発生箇所の給湯設備の使用年数は、設置後10年以上経過しているケースや3年以内で発生したケースもあります。銅管の腐食発生は水道水とのかかわりが考えられ、専門の大学関

係者、銅管製造業界、日本水道協会、設備施工業者から研究資料や文献を収集し、意見をいただきました。

どうして銅管は腐食するの？

水道水に含まれている硫酸イオンやケイ酸が腐食の要因と考えられます。

腐食の度合は、硫酸イオン・ケイ酸の混入濃度や設備の使用条件、配管条件、温水温度や流速、配管の施工状態によって異なります。

銅管の腐食は、登別市だけなの？

銅管の腐食は、登別市にだけ発生しているのではなく、道内外でも発生しています。水源や設備の使用条件などの複合的な要因で発生すると考えられます。

水道水の水質の安全性は？

国の水質基準は、平成4年12月に、検査項目が26項目から46項目に大幅に改正強化され、これに基づいて水質検査を行っています。水道水の水質管理は徹底されています。

品化されています。住宅の新築・増改築工事などで給湯設備の設置・取替をするときは、配管材料の選定について設備の設計・施工関係者と十分にご相談ください。

腐食しない銅管はないの？

麻薬・覚せい剤など「白い粉」の汚染が拡大し、乱用者も主婦や学生にまで及んでいます。麻薬・覚せい剤などについて、目にしたり耳にされた情報を、どんなことでも結構ですので通報ください。ご協力をお願いします。

▼通報先 密輸110番(☎0120-461196)または室蘭税関支署(☎0120-222219)

漏水が発生したら？

漏水が発生した場合は、各建物所有者などが加入している損害保険などの契約内容によって、保険対象となる場合がありますのでご確認ください。

- ▼問い合わせ 水道部工務課 (☎5510)

第8回ふるさと冬まつり

冬の日を、親子で楽しませるか。

- ▼日時 2月8日(土) 11時~14時
- ▼場所 川上公園
- ▼内容 ジャンボすべり台、昔の遊びコーナー、せんべい焼き実演コーナー、焼いて食べてコーナー、ジャンボ豆まきなど
- ▼問い合わせ 社会教育課 (☎1100)

「麻薬」「覚せい剤」の密輸防止にご協力を！

2月は、全国一斉の薬物乱用取締強化月間です。

こ れ な あ に ？



雪ぐつとばったり

これは雪ぐつとばったり。今でいうと、長靴と冬用サンダル。だね。

雪国では、ゴムの長靴が出る昭和初期までは、だれでも履いていたんだ。

秋の夜長にそれぞれの家でお母さんたちがわらを編んで作ってくれたんだって。その家によって編み方がちがうから、靴の模様もちがっているんだよ。

雪が深くて、うまらぬいし、滑りにくいから歩きやすかったんだ。なにより、とてもあつたかかったんだって。(登別市郷土資料館展示品)

人のうごき	
●人口	57,193(+ 3)
●世帯	22,861(- 5)
	()は前月比
平成 8 年 12 月 末 日 現 在	

となりまち
ホットライン
室蘭市



雪と遊んじゃおう!
だんばらスキーフェスティバル

室蘭岳の麓、だんばらスキー場ロッジ周辺で、「だんばらスキーフェスティバル」を開催します。ユーマアと楽しさがいっぱい冬の一大イベントです。雪の中で思っきり遊びませんか。

▼日時 2月23日(日) 10時~14時

▼会場 だんばらスキー場ロッジ周辺

▼内容 手作りソリ大会、スノーボード大会、また、当日参加できる雪上トライアスロン、玉入れ競争、スノーモービル試乗会など、催しが盛りだくさん

※手作りソリ大会の参加ソリは募集中です。

▼詳細 室蘭観光協会(☎0143-220102)

伊達市

江戸時代の優美なおひな様
どうぞご鑑賞ください



3月3日はひな祭り。伊達市開拓記念館では、日本最古の座りびなといわれる江戸時代初期のものや、高さ60センチもある同時代中期の享保びな、人形師・岡田次郎左工門作の次郎左工門びななど、数々の貴重なおひな人形を展示しています。このおひな人形は、旧仙台湾伊達家のお姫様の道具類の一つで、家宝として代々保存されてきたものです。この機会に、ぜひご鑑賞ください。

▼開館時間 8時50分~17時(月曜日と祝日の翌日は休館ですが、3月3日(月)は開館しています)

▼入館料 小学生100円、中・高・大学生150円、おとな200円(3月3日は無料です)

▼詳細 伊達市開拓記念館(☎0142-220601)

この広報紙は再生紙を使用しています。